



平成19年11月8日

各 位

会社名 株式会社 J - オイルミルズ  
代表者名 代表取締役社長 佐々木 農二  
(コード番号: 2613 東証・大証第1部)  
問合せ先 経理部長 立見 健一  
(TEL 03 - 5148 - 7100)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月14日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成20年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 91,500	百万円 2,000	百万円 2,400	百万円 1,500	円 銭 8.97
今回修正予想(B)	89,600	2,000	2,700	1,800	10.77
増減額(B-A)	1,900	-	300	300	1.80
増減率(%)	2.1	-	12.5	20.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期中間期)	80,627	3,173	3,637	2,286	13.73

#### 2. 平成20年3月期中間個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 84,500	百万円 1,500	百万円 1,400	百万円 700	円 銭 4.18
今回修正予想(B)	84,100	1,500	1,700	1,000	5.98
増減額(B-A)	400	-	300	300	1.80
増減率(%)	0.5	-	21.4	42.9	-
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期中間期)	75,126	2,689	2,683	1,537	9.20

### 3. 修正の理由

当中間期は、原料である大豆及び菜種の国際相場が予想を超える高騰を続け、加えて、海上運賃の高騰も発生しており、大幅な原料コスト上昇となっております。これに対して、油脂などの製品価格の適正化を懸命に推進しておりますが、採算悪化を回避できる水準には至っておりません。

原料コスト上昇による収益悪化影響に対して、第二期中期経営計画のコストダウン施策及び経費削減策ほかの収益改善策を強力に推進した結果、営業利益は当初予想を確保する見通しであります。

経常利益は、受取配当金が増加した事により、当初予想を上回る見通しとなりました。

中間純利益は、上述の経常利益の良化に加え、特別利益の発生（契約解除補償金ほか）、固定資産除却損等の特別損失が期首予想を下回った事、以上の様々な要因が生じた事により、当初予想を上回る見通しとなり、平成20年3月期の中間期の業績予想を上記のように修正をいたしました。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上